

## ◎南奈良総合医療センター（以下「医療センター」）に係る Q&A

医療センターに関しお問い合わせが多い項目について Q&A 形式でご説明します。



### Q1. 医療センターは予約が無いと受診できないのですか？ （事前に診察券をもらわないと受診できないのですか？）

**A1.** 組合が運営する医療センター、吉野病院、五條病院の共通診察券（五條診療所でも使えます）の発行を2月1日から現、大淀病院、五條病院、吉野病院で行っています。これは4月当初に一斉に発行手続きが行われると窓口が混乱するため、事前に発行手続きをお願いしているものです。

また、4月以降初めて医療センターを受診された場合は、その際に診察券を発行させていただきます。

4月以降の医療センターにおける診療予約については、2月1日以降、随時、現病院（大淀病院、五條病院、吉野病院）で受診予約を受け付けています。

なお、「医療センターでは予約が無いと受診できないのか」とのお問い合わせをいただくことがありますが、4ページの受診の流れに記載のとおり、初診受付もありますので、現行の病院同様、予約なしでも受診していただくことが可能です。但し、地域のかかりつけ医との連携を進めるため、紹介状をお持ちいただかない場合は、初診時選定療養費として、1,080円（税込み）のご負担をいただきますので、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



### Q2. 3/31～4/1の救急の対応はどうなるのですか？

**A2.** 町立大淀病院や県立五條病院では、4/1の朝から入院患者さんの南奈良総合医療センターへの移送を予定しています。このため、3/31の時間外～4/1午前中の救急については、吉野病院で対応する予定です。但し、吉野病院には手術設備が無いため、症状によっては県立医大等で対応いただく場合があります。

入院患者さんの安全な移送を確認次第、医療センターでは4/1午後から救急の対応を開始する予定です。移行期にはご不便をお掛けいたしますが、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

### 編集後記

「はびねすだより」2号の発行です。今回の表紙の写真は、電子カルテシステム研修会の様子です。従来、紙で管理していた患者様の診療録（カルテ）を、新しい病院では、電子情報として電子カルテで管理を行います。その為、各病院のスタッフを対象とした電子カルテの研修会を行い、新しい病院の開院に向けて準備を行っています。

さて、新しい病院がスタートするまであと少し。オープンに向けての準備も大詰めです。今回、南奈良総合医療センターの各階構成、外来受診の流れについてのご紹介記事を掲載しました。この号を読んでいただいて、少しでも新しい病院への不安が解消されればよいのですが……。





南和広域医療組合発行

# はびねすだより

～南和地域の医療と健康に関する情報誌～

2号



電子カルテシステム研修会の様子(大淀病院)

## 今号の内容

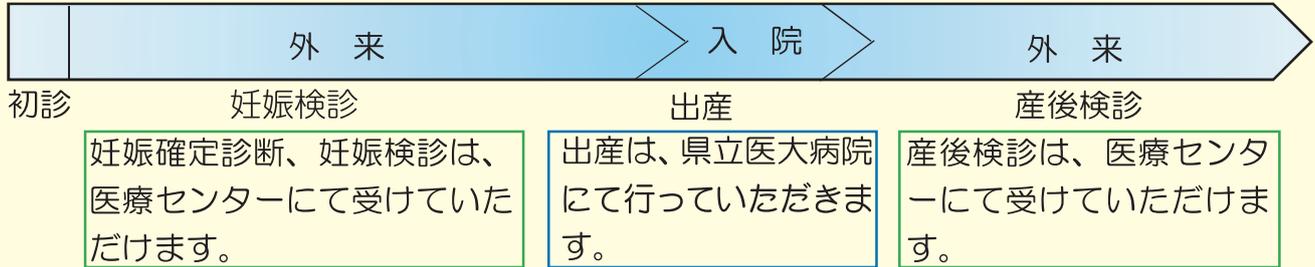
- ・安心して出産を迎えるために…p.2
- ・南和のこどもは南奈良総合医療センターにまかせろ…p.2
- ・南奈良総合医療センター 医療機能・各階構成のご紹介…p.3
- ・南奈良総合医療センター 外来受診の流れに関するご案内…p.4～5
- ・健康トピックス～予防しよう！ロコモティブシンドローム～…p.5
- ・副院長予定者のご紹介…p.6～7
- ・南奈良総合医療センター内覧会のご案内…p.7
- ・南奈良総合医療センターに係るQ&A…p.8
- ・編集後記…p.8

南和広域医療組合は、県と1市3町8村で構成し、南和の公立病院再編事業を進めています。  
(連絡先) 〒638-8551 吉野郡大淀町大字福神8番1 電話: 0747-54-5000 URL: <http://nanwaiyou.jp/>

# 安心して出産を迎えるために

南奈良総合医療センター（以下「医療センター」）と奈良県立医科大学附属病院（以下「県立医大病院」）が連携することによって安心して周産期（妊娠から産後まで）を過ごしていただけるようになります。

周産期には、以下のような流れで、診察を行います。



この連携がスムーズに行えるようになりますので、安心して周産期を過ごしていただけるようになります。



検診は、医療センターの医師（県立医大派遣）、助産師のほか、県立医大病院メディカルバースセンターの助産師が診療応援に来て対応します。また、双方の病院で診療情報がリアルタイム（時間差なく）で共有できるシステムを構築しています。

## 南和のこどもは南奈良総合医療センターにまかせろ

—南奈良総合医療センターの小児科医療の体制について—

南奈良総合医療センター 診療部長予定者 小児科 寺田 茂紀

奈良県南部は広い地域に比べ、こども人口が少ないことが地域の特徴です。（表参照）それ以上に小児専門の医療機関が不足していて、内科の先生や病院小児科で、一次二次対応をしていました。南奈良総合医療センターの小児科では現五條病院小児科部長寺田(S59卒)以下3名の医師とスタッフで広く小児疾患に対処していきます。診療体制は、月～金の平日は午前2診制(9～12時)、午後は1診制(14～16時)で、週2回の予防接種外来、発育・発達の相談、食物アレルギー、喘息やてんかん等慢性疾患の治療管理に加え、急性疾患も可能な限り対応していきます。また、17～19時の夕診も行い、学校で通院困難なこどもや開業の先生方からの依頼もうけていきます。また、南和各地域での乳幼児検診や医療相談にも出向いていきます。夜間休日は、中南和小児輪番に加えて南和地域の小児科当直も行う予定です。『南和のこどもは南奈良総合医療センターにまかせろ』をスローガンに診療にあたっていきます。

(表)

二次医療圏 区分	面積(km <sup>2</sup> )	14歳以下の人口 (H22)(人)
奈良	277	44,979
東和	658	27,069
西和	169	44,235
中和	241	53,275
南和	2,347	8,825

(H27.10 日本小児科学会誌より)



## 副院長予定者（回復期担当） 整形外科 小畠 康宣

「南奈良総合医療センター」ではいつでも救急患者様を受け入れる体制をとる予定となっておりますが、そのうちでも多くを占める手足や背骨のケガや骨折などは私たち整形外科医が対応します。また普段の生活で立ち上がるときに膝が痛いなあとか、腰が痛んで歩きにくい、リウマチで手足が腫れるなども我々整形外科医の得意分野です。当病院ではこれら救急外傷から慢性の関節痛までの治療が一括して行える「リウマチ・運動器疾患センター」として、また急性期から回復期、慢性期まで引き続いた治療を南奈良、五條、吉野各病院で連携して行っていくことを目標としております。そのために現在のところ、骨折や切断指、神経血管損傷などの救急外傷や手・足の手術、スポーツ外傷、リウマチなど様々な専門分野を持つ常勤医 6 名と膠原病内科医を含む 4 名の非常勤医が皆様の治療に当たる予定となっております。



南和地域は奈良県の半分以上を占める広大な山間地域です。今までは一度入院すると通院が困難との理由でなかなか退院できないことも多いのが実情でした。でも安心してください！実は整形外科医は南和地域にある僻地診療所のうち 7 か所で 5 年前から毎月診療を行っているんです。ですから南奈良総合医療センターで手術などを受けられリハビリの後に自宅へ帰られても私たち整形外科医がお家のそばでその後の経過を見せて頂くことができます。

関節リウマチの治療はここ 10 年でめざましい進歩をとげ、専門的治療により寛解可能な病気になりました。私は前任地の奈良医大病院リウマチセンターで長年にわたり多くのリウマチ患者様を診療させて頂いておりました。今回の南奈良総合医療センター開院にあたり南和地域のリウマチ患者さんの治療のお手伝いができるかと思っておりますので、少しでもリウマチの不安がある方、痛みや腫れがあり困っておられる方は遠慮なく相談してください。

### 南奈良総合医療センター内覧会のご案内

開院を前に地域住民の方々を対象にした、新しい病院の見学会を行わせていただきます。

日時：平成 28 年 3 月 13 日（日）

午後 2 時から午後 5 時まで見学可能です。

場所：南奈良総合医療センター

〒638-8551

奈良県吉野郡大淀町大字福神 8 番 1



最新型 128 スライス CT  
高速撮影・高精細・被ばく低減  
五條病院・大淀病院の機器より画像  
解像度があがります。



バイプレーン血管造影装置及び IVR-CT  
脳卒中・がんなどに迅速に対応するために導入されます。

このような機器がご覧いただけます。

# 副院長予定者のご紹介

この度、新たに五條病院に着任された石田先生、大淀病院に着任された小畠先生を中心に南奈良総合医療センターの副院長予定者をご紹介します。

## 副院長予定者（救急担当） 脳神経外科 石田 泰史

はじめまして。石田泰史（いしだやすひと）と申します。南奈良総合医療センターでは救急部門を担当いたします。「南和の医療は南和で守る」という理念に賛同し、約20年ぶりに奈良に戻って参りました。私は奈良県立医科大学を卒業し、これまで脳神経外科医として診療を行って参りましたが、脳神経外科の領域は緊急を要することが多く、従ってこれまで救急医療と深く関わって参りました。みなさん、日々の暮らしで何が心配でしょうか？そのひとつに急に病気になったり怪我をした時の心配は無いでしょうか？脳卒中は誰にでも起こりうる病気で、初期の迅速な診断と治療が生死を分け、また後遺症の程度にも大きく関係してきます。南奈良総合医療センターでは最新の脳卒中の治療を受けていただけるように準備を整えているところです。脳卒中の治療は最近の10年間で目覚ましい進化を遂げました。発症4時間半以内であれば血栓溶解療法が施行でき、以前に比べ格段に良い経過をとる患者さんが増えました。更に今なお新しい治療が開発途中であり、2、3年後には画期的な治療が始まると思います。南奈良総合医療センターでは常に最新の脳卒中治療が行えるように精進し、発信して行きたいと考えていますのでどうぞご期待ください。さて、創刊号の福岡先生のお話にもありましたが、「笑うこと」は患者さんに様々な良い身体的効果をもたらしますが、実は家庭関係や社会での人間関係も、そして私達では医療スタッフの間のチームワーク効果にも良い影響を与えます。新病院では「明るく、楽しく、元気よく」診療を行うために、私の特技？である年季の入った「おやしギャグ」を堪能？していただこうと張り切っています。どうかよろしく願いいたします。



## 副院長予定者（教育担当）

### 麻酔科 下川 充

教育研修担当として、全職員が生涯にわたって学び続け、良質な医療めざして成長し続ける病院を目指します。



## 副院長予定者（内科系統括担当）

### 内科 川野 貴弘

南和地域での内科診療を充実させて、地域住民の皆様の健康を守るという責務を果たしていきたいと思っています。



## 副院長予定者（外科系統括担当）

### 外科 吉村 淳

いよいよ始まる新しい病院体制にわくわくしています。外科系診療・がん診療の充実、地域医療・介護機関との連携の構築、災害医療の確立など、大きな目標に向かって頑張ります。



## 副院長予定者（看護担当）

### 看護部 堀口 陽子

私たち看護職員は、「地域の人々に信頼される責任と思いやりのある看護」をめざし、心をつなげて全力で準備中です！！



# 南奈良総合医療センター 医療機能・各階構成のご紹介

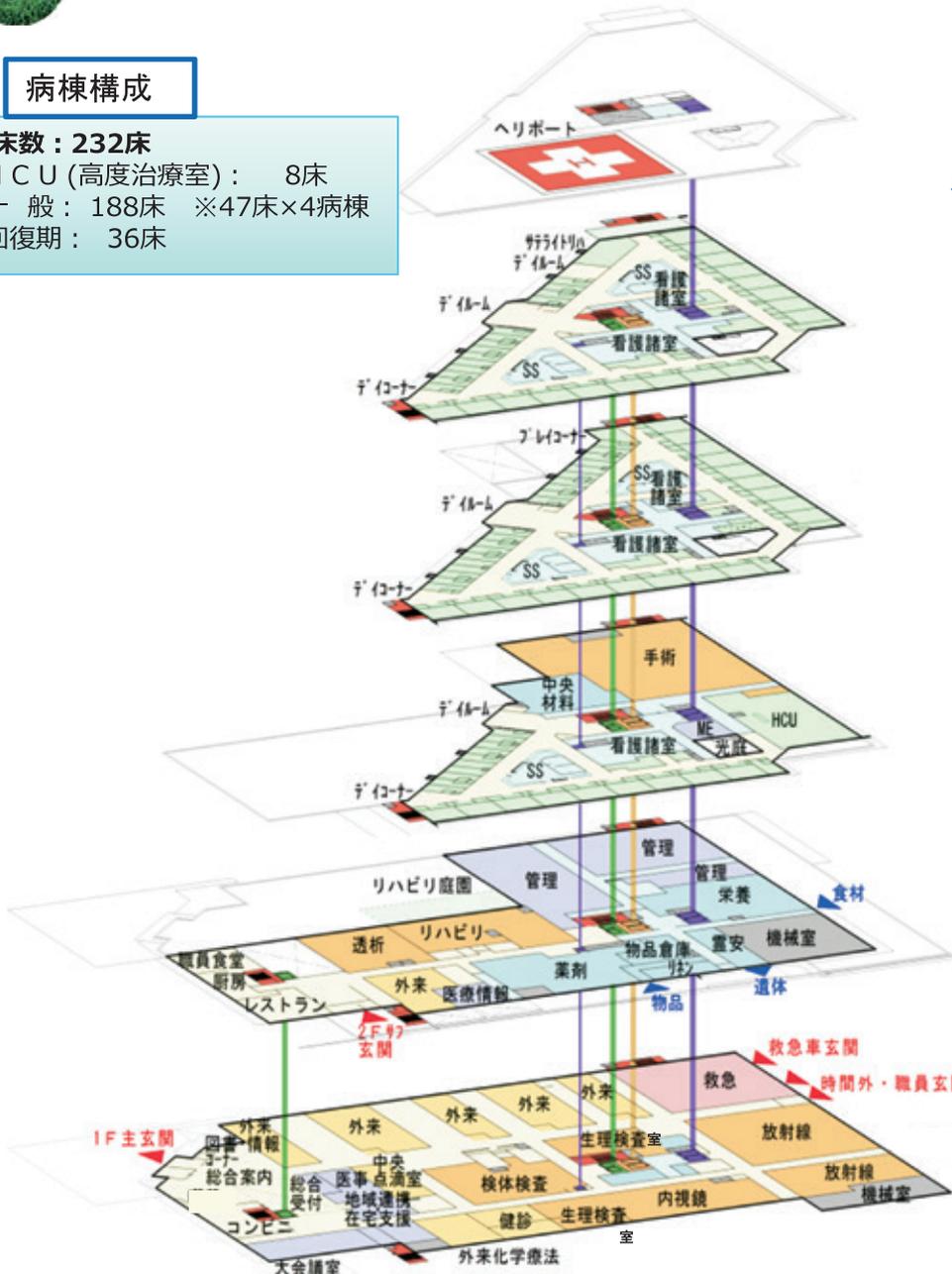
## 1 南奈良総合医療センターの医療機能

診療科・センター機能			
内科系	内科 総合内科 内科（循環器） 内科（糖尿病）	内科（内分泌代謝） 内科（呼吸器） 内科（消化器） 内科（感染症）	神経内科 小児科 精神科（外来のみ）
外科系	外科（消化器・総合） 脳神経外科 整形外科 救急科	皮膚科 泌尿器科 眼科 耳鼻咽喉科	産婦人科 リハビリテーション科 歯科口腔外科
その他	麻酔科 放射線科 病理診断科	<b>センター機能</b> 救急センター 消化器病センター リウマチ・運動器疾患センター 糖尿病センター 腎・尿路疾患センター	在宅医療支援センター へき地医療支援センター 健診センター

## 2 南奈良総合医療センターの各階構成

### 病棟構成

病床数：232床  
HCU（高度治療室）：8床  
一般：188床 ※47床×4病棟  
回復期：36床

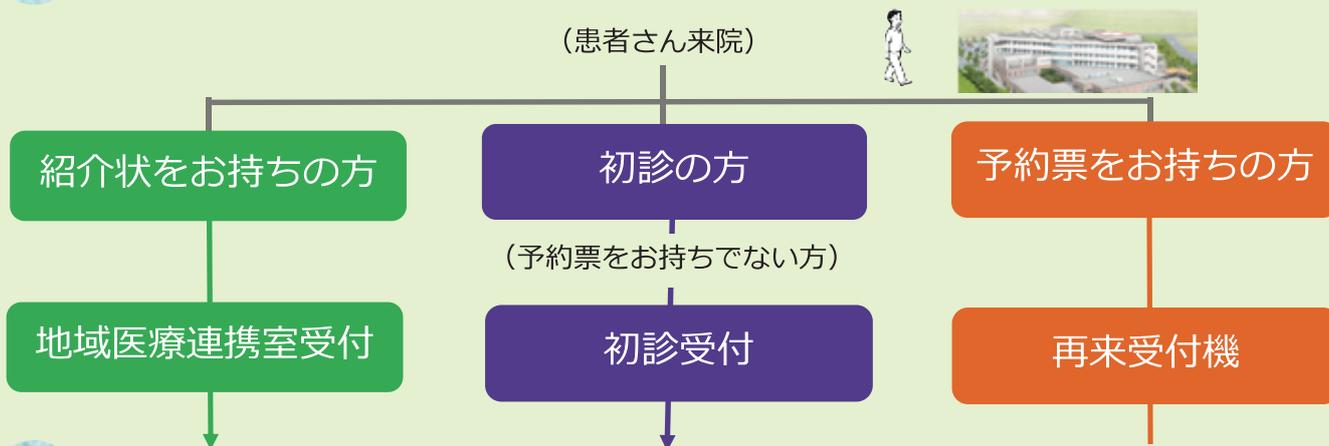


### ▼各階レイアウト

屋上階	ヘリポート
5階	一般病棟(47床) 回復期リハ病棟(36床) サテライトリハビリテーション
4階	一般病棟(47床) 一般病棟(47床)
3階	手術室(4室)・中央材料室 HCU(8床) 一般病棟(47床)
2階	人工透析室、リハビリテーション室 管理部門 外来(泌尿器科・産婦人科) 薬剤室、物品倉庫 霊安室 栄養部門 レストラン
1階	総合案内・総合受付 外来診療部門 救急センター 地域医療連携室・在宅医療支援センター 点滴室、採血室、生理検査室 放射線検査室 外来化学療法室、健診センター エコー検査室・内視鏡検査室 コンビニエンスストア 大会議室

# 南奈良総合医療センター 外来受診の流れに関するご案内

1 外来患者さんは来院後、まず以下の受付へお越しください。



2 各科外来などの受付へお進みください。

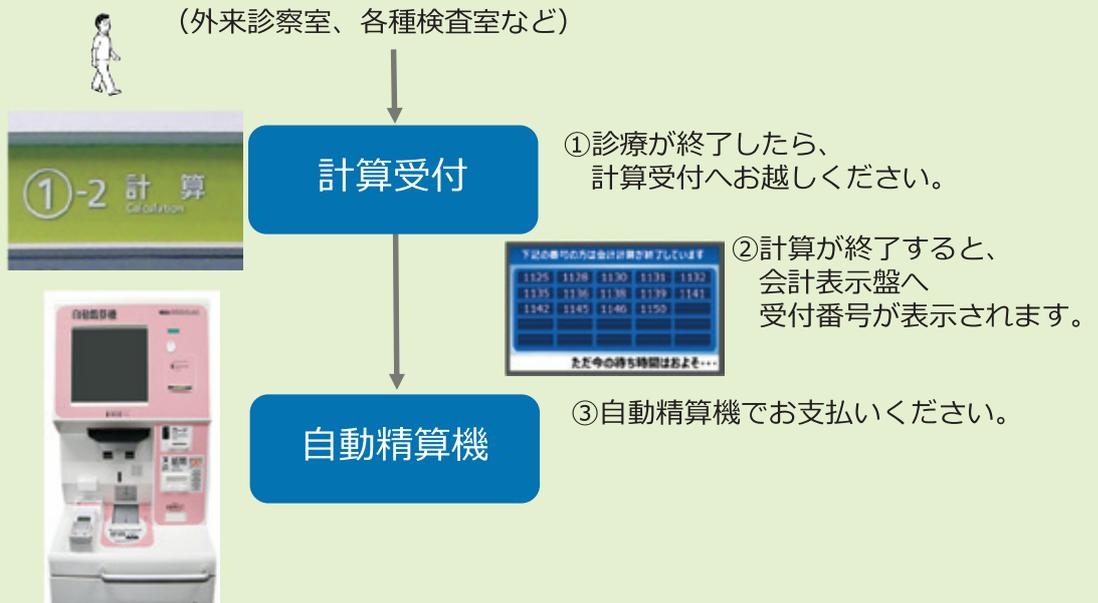
※受付開始時間は8時30分・診察開始は9時です。

## 【外来エリア フロアマップ】



- 3 ● すべての診療が終了後、外来患者さんは**計算受付**へお越しください。  
 ● 計算が終了しましたら、会計表示盤に受付番号が表示されます。  
 ● 外来患者さんは、**自動精算機**で料金をお支払いください。

【計算・お会計のご案内】



健康トピックス ～予防しよう！ロコモティブシンドローム～

年齢とともに筋肉、骨、軟骨などの運動器の機能が徐々に低下し、歩行や日常生活に支障をきたして要介護になる危険が高まります。介護というとまだ先のように思われるかもしれませんが、実は、40代、50代は私たちの身体で運動器に関連する変化が表れやすい年代です。皆さん、「ロコモ」予防で健康なからだづくりに努めましょう。

ロコモティブシンドローム(ロコモ)とは、運動器の障害で移動能力が低下した状態をいいます。まずは、今の状態をロコチェックで確認してみましょう。

ロコチェック

- ① 片脚立ちで靴下が履けない。
- ② 家の中でつまづいたり滑ったりする。
- ③ 階段を上がるのに手すりが必要。
- ④ 家のやや重い仕事が困難である。
- ⑤ 2kg程度の買い物をして持ち帰るのが困難。
- ⑥ 15分くらい続けて歩くことが出来ない。
- ⑦ 横断歩道を青信号で渡りきれない。

ロコチェックで1つでも当てはまれば、ロコモの危険性あり！！  
 ロコトレで予防しましょう。

◎ ロコトレ

exercise1 片脚立ち

転倒予防に必ずつかまるものがある場所で行いましょう。

床につかない程度に足を上げましょう。

左右1分間ずつ、1日3回行いましょう。

exercise2 スクワット

膝がつま先より前に出ないように注意しながら、お尻を後ろに引いていきます。

肩幅より少し広めに足を広げて立ちます。つま先は30°開きましょう。

5～6回を1日3回行いましょう。

スクワットが出来ない場合は、椅子や机を使って、立ち座りを行いましょう。